

1.2 会計基準支援ツールの更新

環境省ホームページで公表している「一般廃棄物会計基準に基づく書類作成支援ツール（Ver2.3）」（以下、「会計基準支援ツール」という。）について、「入力チェックシステムの拡充」、「廃棄物発電に係るコストの出力」、「廃棄物種類の名称変更機能」に関する改修を行った。あわせて、環境省ホームページで公表している「操作マニュアル（Ver2.3）」、「一般廃棄物会計基準説明資料」の改定を行った。

1.2.1 会計基準支援ツールの改修

環境省ホームページで公表している会計基準支援ツール（Ver2.3）について、以下の改修を行った。

(1) 入力チェックシステムの拡充

既存の入力チェックシステムについて、以下の入力チェックを追加した。入力チェック内容及びエラーの表示内容を下表に整理する。

表 1-4 入力チェック項目

| No | 対象ファイル 対象シート | | チェック内容 |
|----|--------------------|---|---|
| | ① | ② | |
| 1 | 設定ファイル 設定.sheet | 入力ファイル 4.sheet(4. 収集運搬部門～ 収集運搬量～) | 設定.sheet(3)各部門における作業の実施主体の設定の「収集運搬・直営」で「1」を入力した廃棄物種類について、入力ファイルの 4.sheet の直営における収集運搬量に入力がない場合、もしくは設定.sheet で「1」が入力されていないが 4.sheet の収集運搬量に入力がある場合にエラーを表示 |
| 2 | | | 設定.sheet(3)各部門における作業の実施主体の設定の「収集運搬・公設民営」で「1」を入力した廃棄物種類について、入力ファイルの 4.sheet の公設民営における収集運搬量に入力がない場合、もしくは設定.sheet で「1」が入力されていないが 4.sheet の収集運搬量に入力がある場合にエラーを表示 |
| 3 | | | 設定.sheet(3)各部門における作業の実施主体の設定の「収集運搬・委託」で「1」を入力した廃棄物種類について、入力ファイルの 4.sheet の委託における収集運搬量に入力がない場合、もしくは設定.sheet で「1」が入力されていないが 4.sheet の収集運搬量に入力がある場合にエラーを表示 |

| No | 対象ファイル 対象シート | | チェック内容 |
|----|--------------------|---|--|
| | ① | ② | |
| 4 | 設定ファイル 設定.sheet | 入力ファイル 13.sheet(13. 中間処理部門 ～中間処理投入量～) | 設定.sheet(3) 各部門における作業の実施主体の設定の「中間処理・直営」で「1」を入力した廃棄物種類について、入力ファイルの 13.sheet の直営における中間処理投入量に入力がない場合、もしくは設定.sheet で「1」が入力されていないが 13.sheet の中間処理投入量に入力がある場合にエラーを表示 |
| 5 | | | 設定.sheet(3) 各部門における作業の実施主体の設定の「中間処理・公設民営」で「1」を入力した廃棄物種類について、入力ファイルの 13.sheet の公設民営における中間処理投入量に入力がない場合、もしくは設定.sheet で「1」が入力されていないが 13.sheet の中間処理投入量に入力がある場合にエラーを表示 |
| 6 | | | 設定.sheet(3) 各部門における作業の実施主体の設定の「中間処理・委託」で「1」を入力した廃棄物種類について、入力ファイルの 13.sheet の委託における中間処理投入量に入力がない場合、もしくは設定.sheet で「1」が入力されていないが 13.sheet の中間処理投入量に入力がある場合にエラーを表示 |
| 7 | 設定ファイル 設定.sheet | 入力ファイル 17.sheet(17. 最終処分部門 ～最終処分投入量～) | 設定.sheet(3) 各部門における作業の実施主体の設定の「最終処分・直営」で「1」を入力した廃棄物種類について、入力ファイルの 17.sheet の直営における最終処分投入量に入力がない場合、もしくは設定.sheet で「1」が入力されていないが 17.sheet の最終処分投入量に入力がある場合にエラーを表示 |
| 8 | | | 設定.sheet(3) 各部門における作業の実施主体の設定の「最終処分・公設民営」で「1」を入力した廃棄物種類について、入力ファイルの 17.sheet の公設民営における最終処分投入量に入力がない場合、もしくは設定.sheet で「1」が入力されていないが 17.sheet の最終処分投入量に入力がある場合にエラーを表示 |
| 9 | | | 設定.sheet(3) 各部門における作業の実施主体の設定の「最終処分・委託」で「1」を入力した廃棄物種類について、入力ファイルの 17.sheet の直営における最終処分投入量に入力がない場合、もしくは設定.sheet で「1」が入力されていないが 17.sheet の最終処分投入量に入力がある場合にエラーを表示 |
| 10 | 設定ファイル 設定.sheet | 入力ファイル 21.sheet(21. 資源化部門～ 資源化投入量～) | 設定.sheet(3) 各部門における作業の実施主体の設定の「資源化・直営」で「1」を入力した廃棄物種類について、入力ファイルの 21.sheet の直営における資源化投入量に入力がない場合、もしくは設定.sheet で「1」が入力されていないが 21.sheet の資源化投入量に入力がある場合にエラーを表示 |
| 11 | | | 設定.sheet(3) 各部門における作業の実施主体の設定 |

| No | 対象ファイル 対象シート | | チェック内容 |
|----|--------------|---|---|
| | ① | ② | |
| | | | の「資源化・公設民営」で「1」を入力した廃棄物種類について、入力ファイルの 21.sheet の公設民営における資源化投入量に入力がない場合、もしくは設定.sheet で「1」が入力されていないが 21.sheet の資源化投入量に入力がある場合にエラーを表示 |
| 12 | | | 設定.sheet(3) 各部門における作業の実施主体の設定の「資源化・委託」で「1」を入力した廃棄物種類について、入力ファイルの 21.sheet の委託における資源化投入量に入力がない場合、もしくは設定.sheet で「1」が入力されていないが 21.sheet の資源化投入量に入力がある場合にエラーを表示 |

(2) 廃棄物発電に係るコストの入力及び出力

既存の会計基準支援ツールにおいて、廃棄物発電に係る施設の事業費、施設に係る物件費、発電に寄与する割合等を入力することにより、廃棄物焼却発電に係る施設やメタン発酵に係る施設の費用等を出力できるよう、改修を行った。

以下に入力ファイルの画面イメージを示す。

34. 廃棄物焼却発電施設に係る費用

-1.sheetにて「廃棄物焼却発電対象施設」に「1」を入力した施設を対象としたシートです。
 -廃棄物焼却発電施設について、2.sheetより事業費等、26.sheetより人件費、27.sheetより施設に関する物件費に関する入力データが自動で表示されます。
 -ピンク色、オレンジ色、薄いオレンジ色部分を入力することで、発電に係る費用・原価等を算出することができます。

<対象施設>

| No. | 施設名称 | 施設No. |
|-----|------|-------|
| 1 | | |
| 2 | | |

入力確定

データクリア

入力確定解除

<施設1>

(1) 事業費

※2.sheet「所有施設に係る事業費等」に入力がある対象施設の事業費が上から10件目まで表示されます。2.sheetにおいて対象施設の事業費等を11件以上入力がある場合は、2.sheetの入力内容を参照してください。

| No. | 施設名称 | 種別 | 仕様等 | 取得年度 (西暦) | 取得価額 (円) | 取得価額のうち支出金 | | 想定 耐用年数 (年) | 減価償却費 (円/年) | | 帳簿価額 (円) |
|-----|------|----|-----|--------------|-------------|------------|---------|-------------------|-----------------------|-------------------------|-------------|
| | | | | | | 支出金 (円) | ① 国庫 | | ② 都 道 府 県 | うち、経常移 転収入分 (円/年) | |
| 1 | | | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | |

(2) 発電に係る事業費等

| No. | 施設名称 | 仕様等 | 取得年度 (西暦) | 取得価額 (円) | 取得価額のうち支出金 | | 取得価額 に占める 発電部分 の割合※ | 発電に係る取得価額 | ※注記 |
|-----|------|-----------|--------------|-------------|------------|---------|------------------------------|-----------|---|
| | | | | | 支出金 (円) | ① 国庫 | | | |
| 1 | | ①受入供給設備 | | | | | 0% | 0 | 該当なし |
| 2 | | ②燃焼設備 | | | | | 0% | 0 | 基本は該当する設備はないが、炉本体や溶融炉本体のボイラ水冷壁部分を燃焼設備に含めている場合はその部分が該当する |
| 3 | | ③燃焼ガス冷却設備 | | | | | 0% | 0 | ボイラ本体、蒸気復水器、高圧蒸気ための、復水タンク、脱気器、蒸気周りポンプ等ほぼ全ての設備が該当する |
| 4 | | ④排ガス処理設備 | | | | | 0% | 0 | 該当なし |
| 5 | | ⑤通風設備 | | | | | 0% | 0 | 該当なし |
| 6 | | ⑥余热利用設備 | | | | | 0% | 0 | 蒸気タービン、発電機およびその補機類が該当する |
| 7 | | ⑦灰出し設備 | | | | | 0% | 0 | 該当なし |
| 8 | | ⑧給水設備 | | | | | 0% | 0 | 該当なし |
| 9 | | ⑨排水処理設備 | | | | | 0% | 0 | 該当なし |
| 10 | | ⑩電気設備 | | | | | 0% | 0 | 0(③+⑥)/(①~⑩の合計) |
| 11 | | ⑪計装設備 | | | | | 0% | 0 | 0(③+⑥)/(①~⑩の合計) |
| 12 | | ⑫土木建設設備 | | | | | 0% | 0 | 0(③+⑥+⑩+⑪)/(①~⑫の合計) |
| | 合計 | | | | | | 0% | 0 | |

(3) 発電に係る人件費

| 施設名称 | 人員数 (人) | | 人件費総額 (円/年) | | | 人件費に占める 発電部分の割合 | 発電に係る人件費 (円/年) | (参考) 建設費全体に占 める発電の割合 | ※人件費に占める発電 部分の割合が不明な場合 は、「建設費全体に占 める発電の割合」を使う ことが考えられます。 |
|------|-------------|------------|----------------|--------|----|--------------------|-------------------|----------------------------|--|
| | ①自治体 正職員 | ②臨時職員 等 | ①自治体正職員 | ②臨時職員等 | 合計 | | | | |
| | 0.0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0% | |

(4) 発電に係る物件費

| 施設名称 | 施設に係る物件費 (維持補修費等) (円/年) | 施設に係る 経費 (公債利息等) (円/年) | 物件費及び経費 に占める発電部 分の割合 | 発電に係る 物件費及び経費 (公債利息等) (円/年) | (参考) 建設費全体に占める 発電の割合 | ※物件費に占める発電部分の 割合が不明な場合は、「建設費全体 に占める発電の割合」を使うこと が考えられます。 |
|------|-------------------------------|---------------------------------|----------------------------|--------------------------------------|----------------------------|--|
| | 0 | 0 | | 0 | 0% | |

(5) その他

| 施設名称 | 発電容量 (kW) | 年間発電量 (kWh/年) | 廃棄物中の バイオマス比率 (%) | 非バイオマス分の 発電単価 (円/kWh) | FIT適用発電単価 (円/kWh) | 発電による収入 (円/年) | 発電によって削減された 電力購入費 (円/年) |
|------|--------------|------------------|-------------------------|-----------------------------|----------------------|------------------|-------------------------------|
| | | | | | | 0 | |

※カローベースのバイオマス比率

<出力様式>

| 施設名称 | 発電容量あたりの 建設費 (円/kW) | 発電容量あたりの 運転管理費 (円/kW・年) | 発電に係る人件費 (円/年) | 廃棄物発電原価 (円/kWh) | バイオマスの発電原価 (円/kWh) | 廃棄物発電に係る収支 (円/年) |
|------|---------------------------|-------------------------------|-------------------|--------------------|-----------------------|---------------------|
| | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 |

図 1-1 廃棄物発電対象施設に係る費用 入力画面イメージ

(3) 廃棄物種類の名称変更機能

一般廃棄物会計基準で定められた廃棄物種類 20 種類の名称と自治体が使用している廃棄物種類の名称は異なる場合もあるが、会計基準支援ツールでは廃棄物種類の名称を変更することができなかつたため、一般廃棄物会計基準における廃棄物種類の名称を活かしつつ、会計基準支援ツールにおける表示では自治体独自の廃棄物種類の名称を表示できるよう改修を行った。

1) 設定ファイルでの設定

廃棄物種類の名称は設定ファイルの設定シートで設定することとした。以下に画面イメージを示す。

(5) 廃棄物種類の名称の変更

廃棄物種類の名称変更

廃棄物種類の名称を変更したい場合に、「廃棄物種類の名称変更」チェックボックスを選択後、変更したい廃棄物種類の名称を入力してください。
入力ファイル及び出力ファイルにおける廃棄物種類の名称が変更されます。
ただし、異なる区分の廃棄物種類に変更しないようご注意ください。

| | ① 燃やすごみ | ② 燃やさないごみ | ③ 粗大ごみ | ④ アルミ缶 | ⑤ スチール缶 | ⑥ 無色のガラス製の容器 | ⑦ 茶色のガラス製の容器 | ⑧ その他のガラス製の容器 | ⑨ リターナブルびん | ⑩ ペットボトル | ⑪ 白色トレイ | ⑫ プラスチック製容器包装 | ⑬ 紙製容器包装 | ⑭ 紙パック | ⑮ 段ボール | ⑯ 古紙 | ⑰ 古布 | ⑱ 生ごみ | ⑲ その他の資源ごみ | ⑳ その他のごみ |
|-------|---------|-----------|--------|--------|---------|--------------|--------------|---------------|------------|----------|---------|---------------|----------|--------|--------|------|------|-------|------------|----------|
| <変更前> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <変更後> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

図 1-2 廃棄物種類の名称変更 設定画面

2) 出力ファイルでの表示名称変更

1) の設定後、出力ファイルの原価計算書、原価別紙、原価参考資料の廃棄物種類の表示名を変更するよう改修を行った。廃棄物種類の名称変更後の出力イメージを以下に示す。

一般廃棄物の処理に関する事業に係る原価計算書(総括表)

| 対象年度 | | ①可燃ごみ | ②不燃ごみ | ③粗大ごみ | ④アルミ缶 | ⑤スチール缶 | ⑥無色のガラス製の容器 | ⑦茶色のガラス製の容器 | ⑧その他のガラス製の容器 | ⑨リターナブルびん | ⑩ペットボトル |
|------|----------------------------|-------|-------|-------|-------|--------|-------------|-------------|--------------|-----------|---------|
| <原価> | 収集運搬部門原価 (円/kg-収集運搬量) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 中間処理部門原価 (円/kg-中間処理投入量) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 最終処分部門原価 (円/kg-最終処分投入量) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 資源化部門原価 (円/kg-資源化投入量) | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | | | | | | | | | | |

自治体で使用している名称に変更

図 1-3 廃棄物種類の名称変更 出力画面

1.2.2 公表資料の更新

現在環境省ホームページで公表している「操作マニュアル (Ver2.3)」、「一般廃棄物会計基準説明資料」について以下の検討及び更新を行った。

表 1-5 公表資料の更新内容一覧

| 検討項目 | 更新対象資料 | 更新内容 |
|--------------------------------------|-------------|---|
| 収集運搬部門の費用の配賦に用いている「嵩密度」に関する情報 | 操作マニュアル | 「嵩密度」を用いて費用を配賦する条件を操作マニュアルに明記した。 |
| 家庭系・事業系別に費用・原価算出する方法 | 操作マニュアル | 収集運搬部門については「家庭系」と「事業系」で異なる収集方法を採用している場合、収集運搬部門についてのみ、2つの支援ツールファイルを活用し、それぞれに、家庭系・事業系の収集運搬に関するデータを入力することで、家庭系・事業系別に費用・原価を算出可能な旨を操作マニュアルに追記した。 |
| 市町村等が独自に算出している既存データと会計基準への入力データの対応関係 | 一般廃棄物会計説明資料 | 「平成 22 年度一般廃棄物処理の効率的な事業実施手法検討調査委託業務報告書」を活用し、市町村等が算出している既存データ(社団法人全国都市清掃会議の「廃棄物処理事業原価計算の手引き」(以下、全都清方式)に基づく方式が多いもの、その詳細な方法は自治体によって異なっている)と会計基準との主な相違点を一般廃棄物会計説明資料に追記した。 |